

【施設状況】

グループ名称	若穂多目的広場								
指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会					法人番号	1100005000034		
所管課	主	151000	スポーツ課	副					
構成施設	若穂多目的広場								
施設分類	03	施設貸出2型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	多目的広場(グライダー練習場)								
施設設置目的	グライダーの運行及び各種行事の用に供し、航空スポーツの育成また市民文化の交流に資するため設置された。								
基本方針等	若穂多目的広場は、長野市内で唯一の航空スポーツに対応した運動広場であり、専門的な知識と技術を持ったスタッフの運営により、幅広い年齢層の人々に航空スポーツを楽しんでもらい、裾野を広げていくことを目指している。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・グライダー操縦訓練 ・施設の貸出し ・各種イベントの開催 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会			指定回数	4 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

No. 70

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		グライダー訓練	人	1,518	1,075	1,197	1,608	134%	3
		グライダー教室	人	119	0	83	0	0%	
		その他訓練等	人	3,853	1,072	1,366	644	47%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染症に伴う全体的な利用者数の減少(休止期間:令和2年4月17日~令和2年5月15日まで)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・使用の許可に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設の使用許可の取消しに関する業務 ・市が必要と認める業務							
	自主事業	一般市民向けに体験飛行を行うことでスカイスポーツへの理解を深めている			今年度については新型コロナウイルスの影響により、未実施。				
サービス維持・向上の取組み(広報等)	ホームページ等により積極的に広報活動を行い、幅広い利用を呼び掛けている。								

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
	(2) 調査、会議等の内容	聞き取り等によって把握している。	
	(3) 調査、会議等の結果	「航空スポーツにおいて、最適な自然環境に恵まれており、全国でも当施設での活動を希望する団体等も多い」との評価があった。	
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項		
	<<対応措置>>		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料		指定管理料			雑(納付金)		雑(納付金)	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入		その他収入			その他		その他	
	計	0	計	0		計	0	計	0
人件費	人件費		人件費		指定管理料	指定管理料		指定管理料	
	設備管理費	400,000	設備管理費	215,064		委託料		委託料	
備品購入費	備品購入費		備品購入費		需用費	需用費		需用費	
	修繕費		修繕費			役務費		役務費	
光熱水費	光熱水費		光熱水費		使用料・賃借料	使用料・賃借料	100,000	使用料・賃借料	100,000
	事業費		事業費			修繕費		修繕費	
事務経費	事務経費		事務経費		工事請負費	工事請負費		工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	計	400,000	計	215,064		計	100,000	計	100,000
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		-400,000		-215,064	差引		-100,000		-100,000
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									0.0%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	配置実績 (うち市内雇用職員数)			事務局長1人、会計1人、運営委員4人(6) 総数:6人
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか			

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 70

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	5			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 隣接する農地の土地所有者との親交もあり、連携して諸問題の解決に取り組んでいる。 グライダー運搬用トレーラー約20台の保管場所として、近隣の土地所有者の協力を得ている。 当施設を利用する際の、宿泊施設及び消耗品等の調達は地元業者を積極的に利用している。 グライダー場周辺の道路に碎石を搬入、道路整備を行うなど周辺地域の環境整備にも貢献している。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する農地の土地所有者との親交もあり、連携して諸問題の解決に取り組んでいる。 グライダー運搬用トレーラー約20台の保管場所として、近隣の土地所有者の協力を得ている。 当施設を利用する際の、宿泊施設及び消耗品等の調達は地元業者を積極的に利用している。 グライダー場周辺の道路に碎石を搬入、道路整備を行うなど周辺地域の環境整備にも貢献している。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<ul style="list-style-type: none"> 隣接する農地の土地所有者との親交もあり、連携して諸問題の解決に取り組んでいる。 グライダー運搬用トレーラー約20台の保管場所として、近隣の土地所有者の協力を得ている。 当施設を利用する際の、宿泊施設及び消耗品等の調達は地元業者を積極的に利用している。 グライダー場周辺の道路に碎石を搬入、道路整備を行うなど周辺地域の環境整備にも貢献している。 				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	6	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	5	10	
合計得点			

評価理由	<p>・「施設の有効活用」について、グライダー飛行に限らず、各種訓練等にも利用されている。また、除草作業等を行い施設の環境改善に努め、利用者の利便性の向上を図った。</p> <p>・「管理運営全般」については、グライダー飛行の専門的な知識を活かし、安全かつ適切に施設を維持管理できている。</p> <p>・「危機管理体制」については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、利用者に対し非接触型体温計での検温、手指の消毒、マスク着用をお願いし、感染対策を積極的に実施した。</p>		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>・安全対策及び施設の維持管理の徹底を図る。</p> <p>・グライダーでの利用以外にも、施設の目的に合った利用要望が申請された場合は積極的に受入れ、施設の有効利用を促進する。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症防止対策を引き続き実施していく。</p>		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

グライダー訓練に供すること

- ・年間を通じて支障なく供することができた。
- ・機材の撤収などスムーズにできた。

一般市民の広場として供すること

- ・グライダー訓練と市民のレジャー活動の供用ができた。
- ・ラジコン愛好者の活動のルール化を整備した。
- ・県警機動隊、白バイ隊、警ら隊、鑑識部の訓練など、公的な活動にも協力できた。
- ・市内企業の業務活動(長野日本無線株式会社の中型ドローンのテスト飛行)にも協力できた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・乗用草刈り機用トラクター1台が使用により損傷したので代替えを実施した。
- ・水没した乗用ハンマー草刈り機の復旧修理を実施した。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

A

① 評価理由

- ・令和元年東日本台風災害による土砂の堆積に対し、重機のレンタルなどにより、どこよりも早く復旧活動をし、グライダー活動の早期再開が実現できた。
- ・今後の増水対策として周回堤の開口を無くし、周辺への流水防止策を実施した。
- ・水害復旧路面整備を進めることができた。

② 次年度以降の取組み

ワールドカップの実施を目指して広場の拡充をはかっていきたい。
 舗装路のひび割れ、亀裂が目立ってきたので修理する。
 舗装路を南へ500m延長する。(グライダー訓練条件の向上のため)